

ひよこぐみだよ

H29. 4. 10 (月)

入園おめでとうございます！！

ひよこ組は新入園児4名でのスタートです。
たんぽぽ組（年長さん）が遊びに来てくれました。抱っこしてくれたり、“ちゅうりっぷ”の歌を歌ったりしてくれました。



F・K くん

T・Y さん

S・A さん

H・F くん

少しずつ保育園に慣れてきた子どもたち。保育室のロッカーを開けたり、ベッドの下に入ったり、探索活動する姿も見られるようになってきました。



おねがい

持ち物が迷子にならないように
名前の記入をお願いします。

一年間よろしくお願いします

☆初めての集団生活や新しい環境に慣れることに時間がかかるのではないかなど保護者の方にとっても心配なことが多いと思いますが、一人ひとりの子どもたちと丁寧に関わり、安心して過ごすことができるようにしていきます。保護者の方のご協力をいただきながら一緒に子どもたちの育ちや成長を支えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



0歳児担任：福岡・道畑・齊藤

第1号



すみれぐみだより

平成29年4月10日（月）

進級・入園のつどいも終わり、少しずつではありますが、新しいお友だちも保育士やクラスの雰囲気にも慣れてきました。すみれ組には5名の新入園児が加わり、22名でスタートをしました。



K・A さん

O・T さん

O・U くん

B・K くん

Y・R さん



「 ちゅうりっぷ 」

うたを歌うことが好きな子どもたち。園庭に咲いているちゅうりっぷを指さししながらうたっています。給食の前には、保育士のピアノに合わせて、身体を動かしています。これからいろいろな季節の曲をうたっていきたいと思います。

新しいお友だちと元気いっぱいの子どもたち、毎日笑顔で楽しく過ごしていきたいと思います。一年間、一人ひとりが安心して過ごせるような環境づくりをして、保護者の皆様と一緒に子どもたちの成長を見守っていきたく思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

1歳児担任:中村(亜)、草場、有蘭、舩石



平成29年4月10日(月) 発行

★ちゅうりっぷ組での生活がスタート

今年度は14名の子どもたちと一緒に、ちゅうりっぷ組がスタートしました。この一年間での様々な経験の中で、子どもたちがどのように成長していくのか期待で胸がいっぱいです。

ままごと遊びで生活習慣の挨拶も身に付き、言葉を覚える時期です。

子どもたちと一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



3月末に移行保育を始めてから、1歳児のすみれ組と2歳児のちゅうりっぷ組での育ちの違う部分に毎日のように気づき、刺激を受けている子どもたちです。「これなん?」と男子用便座を見て興味を持つ子、「帽子がピンクになった!」と色の違いに気づく子、暖かい日には「ちゅうちっぷぐみ暑いね…」と室内の気温の違いに気づく子、室内の窓からごみ収集車が見えることに気づく子、など様々です。日頃の何気ないことが、子どもたちにとっては大きなことのようにです。今までと違う部分を見つけて保育士に知らせてくれる時の表情や声のトーンから、「進級した」という喜びが伝わってきます。

はるですね はるですよ

園庭で遊んでいると、ちゅうりっぷや桜が咲いて、ちょうちょが飛んでくるようになりました。昆虫が好きな子どもは、アリやダンゴ虫も見つけるようになりました。

「この前はおらんかったのにね」と言い、春の訪れを感じているようです。天気の良い日は、保育園の近くにある「なかよし公園」まで散歩に行く計画をしています。散歩に行く途中もいろんな“春”を子どもたちと感ずることができればいいなと思っています。

園外を歩くので、歩きやすい靴の方がいいですよ。

ちゅうりっぷ組の本棚にある絵本の一番人気は「だるまさんが」です。今までは保育士が読んでいたのですが、本の内容を覚えている子どもたちは、自分でページをめくりながら話すことができます。ある日、そうくんがだるまさんの絵本を手にとると、たつきくんやひろむくんも見なくなったようで、そうくんの前に座りました。するとそうくんは何も言わず絵本の向きを変えると、相手に見えやすいようにしながら読んであげていました。まるで小さな先生のように、微笑ましい風景でした。



2歳児担任 唐木・井上・桑原



平成 29.4.10 (月)

「ランチルームでのお食事」

こすもす組に進級して喜んでいる子どもたち。なかでも一番楽しみにしていたのが、ランチルームでの食事でした。移行保育でこすもす組の保育室になった日に「はやくランチルームで食べたいね。」と子どもたちは話していました。4月に入り子どもたちは「ランチルームで食べるのうれしいな」とソワソワしている様子でした。給食袋を抱えてランチルームに行くと、給食の先生の姿に「お家のお母さん見たいやね」「トントンって包丁の切る音が聞こえるよ」など、とても興味をもって見ていました。

食事が始まると「せんせい！お汁おいしいよ」「お野菜食べたよ」とそれぞれが給食の先生に声をかけていました。そして、お迎えの時にはお家の方にうれしそうにランチルームでの様子を話していました。進級し少しお兄さんお姉さんになった喜びが、成長へとつながっているようです。



*「ふまないで！」

園庭で遊んでいたときに、「ふまないでー！」と、あいりちゃんの声が聞こえました。「どうしたの？」とみんなが集まると、地面にひとつのたんぽぽの花が咲いていました。「たんぽぽさんがいるから、みんなふまないでよー」と言いながら両手を大きく広げてふまれないように小さな身体で守っていました。しばらくすると「いいこと考えた！」と傍にあったスコップをたんぽぽの花にかぶせて「これで大丈夫ね」とお花に声をかけてその場をあいりちゃんは離れました。

春は、植物や木の育ちを身近に感じられる素敵な季節です。豊かな自然の体験を通じて、感じたり気づいたりしながら感性が育つように支えていきたいと思います。



*「消防自動車どこいくの？」

こすもす組になり、10月にある登山に向けて毎月戶外散歩の計画を立てています。ある日、保育園の前を救急車が通ると「救急車どこに行くの？」「どこに帰るんかね？」と話していました。保育士が「救急車のいるお家探しに行く？」と聞くと「いきたい！いこうよ！」と声上がり、早速園から一番近い高見の消防署に行こうと子どもたちと話しています。子どもの「なに？」「どうして」の思いを受け止め一緒に考え、子どもたちの好奇心や興味が高まるように計画していきます。

こすもす組担任：崎野・河内



ひまわりだより

H29, 4, 10(月)

新年度を迎え、新しい保育室にも少しずつ慣れてきている子どもたち。4歳児の集団として友だちと元気に関わる声がクラスの活気となっています。

ひまわり組の保育室の前の園庭に、大きな桜の木があります。子ども達は新しい部屋に引っ越してすぐに、桜の木のつぼみが少しずつ膨らんでいることに、気づいて興味を示していました。そして先日、薄桃色の桜の花びらが2つ、3つ開いたのを喜び、歌をうたったり、もっと近くで見たいと、外に出ました。すると、一緒に桜の花びらを見ていたK君が「このまま、ずっと桜を見ていたいな」と、目をうっとりさせていました。桜の花びらの綺麗さを言葉で表現する発想の豊かさが、ひまわり組を一層楽しい保育室にしました。

これから1年間、喜び、驚き、期待など、ドキドキ経験をしながら共に育つ姿を大切に支えたいと思います。



「僕、運転手がいい」

クラスの壁面に飾りつけをしている時の事です。子ども達が、自分たちで色々なデザインの洋服を着せ、ロケットに乗せていました。すると、U君が「僕、運転手がいい」と運転するようなくさをしました。私は、その子どもだけが運転手が言いという、他の子どもも「私も、僕も」等言うのでは、と思ったのですが、他の子ども達は「いいよ」と友だちの考えを受け入れていました。それぞれの思いがあることに気づき、役割を分担しようとする子どもたちの育ちを、嬉しく思いました。

金魚ちゃん

保育室に金魚が1匹います。名前は「ニモちゃん」です。子ども達とエサをどうするか等、話し合いました。「朝と、夕方と順番でやったらいいよ」や「金魚ちゃんは、身体が小さいからエサはちょっとでいいよ」等、自分で考えた事を友だちの前で、発表していました。そして、話し合った結果、名前カードを作りエサやりの順番を決めました。自分の順番を楽しみに待っている子どもや、友だちがエサをあげるのを傍でみて、「食べているよ、おいしいんだね」等と一緒に喜ぶ子どもなど、新しいひまわり組の風景です。

金魚にエサをあげることで、「今日のお当番は金魚に、エサをあげたかな？」等金魚の事を気にするようになったり、役割を守ろうとする子ども達です。

「今年度もよろしくお願いします」

元気いっぱい子どもたちに負けたくないように私も成長していきたいと思います。ひまわり組としての、集団意識の高まりをどう支えるか子ども達の考えや思いを大切にしていきたいと、思っています。宜しくお願い致します。

今丸 環

ちゅうりっぷ組から傍で、成長を見守ってきた子ども達と、ひまわり組でも一緒に過ごせるのは、とても嬉しいです。精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。

萩尾 早紀



☆第1号☆



発行：平成29年4月10日（月）

ご進級おめでとうございます

暖かな春の陽気と共に、新年度がスタートしました。進級を喜んでいるかのように園庭の桜も一つまた一つと花開いています。子どもたちの大きく膨らんだつぼみも、この1年で素敵な花を咲かせることができるように、一緒に笑ったり、悩んだり、感動したりしながらたくさんの経験を重ねていきたいと思えます。

「今日から本当にたんぼぼさん！」

4月1日、登園してきた子どもたちは朝から何だかソワソワ。すると「先生、たんぼぼさん（卒園児）って今日から小学校に行ったの？本当に保育園卒園したん？」とRちゃん。保育士が、卒園したことを伝えると、「もう会えないんだね…」と寂しそうな表情を浮かべていましたが、しばらくするとぱっと花が咲いたように表情が明るくなり「みんな！今日から私たちが本当にたんぼぼさんだよ！」と嬉しそうに話していました。それを聞いたたんぼぼぐみの友だちは「今日から僕たちがたんぼぼだって！」「たんぼぼになったら、お当番もしないといけない！」「畑の水やりもお願いされたよね！」と進級した嬉しさに、心を弾ませていました。

「元気に育ってね」

先日、花壇にお花を植えました。「素敵はお花が咲くように、みんなで水やりをしよう」「雑草が生えたら、栄養が取られちゃうから、雑草も抜かなくちゃ！」「どんなお花が咲くんだろう」と毎日楽しみにしている子どもたち。

次の日、園庭で遊んでいたときのことです。花壇の傍で数人の子どもたちが座り込んでいました。近くに行くと何やら話し声が…。よく聞いてみると「お花さん、たくさん水を飲んできれいなお花を咲かせてね」「今日は暖かいから、気持ちが良いね」「お花が咲くの楽しみにしてるよ」と花に優しく話しかけていたのです。そんな子どもたちの姿を見て、私の心に花が咲いたように温かい気持ちになりました。

元気いっぱい たんぼぼぐみの仲間たち♪



一人ひとりの個性を大切にしながら、子どもたちとたくさんの経験を通して大きく成長出来る1年にしたいと思います。

一年間、よろしく願い致します。

5歳児担任：田中